

コンテンツ一覧

Vol.19では下記についてお届けします。詳細については、該当ページをご覧ください。

該当 ページ	内 容	概 要
2	新型コロナウイルス感染症流行への 対策（GBRC 性能評定課）	勤務体制の一部変更や委員会の開催方法等に関するご案内
3, 4	GBRC業務説明会の開催報告	2020年2月に開催させて頂きました 材料証明に関する業務説明会について
5	2020年1月から4月に制定・改正 されたJIS	骨材の試験規格等のJISが改正されています。 また、JIS A 6209（コンクリート用火山 ガラス微粉末）が新たに制定されています。
6	委員会の開催スケジュール等	2020年5月から9月の委員会開催日等

〔 お知らせ 〕 新型コロナウイルス感染症流行への対策について

国内でも **新型コロナウイルス** の感染が拡大しており、全国に非常事態宣言が出されています。

現在、性能評定課では **下記の対策** を講じた上で、業務を行っています。

皆様にはご不便をおかけする点もあるかと存じますが、現状をご理解の上、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

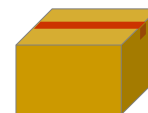
なお、今後の感染状況によって対策を変更する場合がありますが、その際にはGBRCのホームページで改めてご案内申し上げます。

新型コロナウイルス感染症流行期間中の対策（性能評定課）

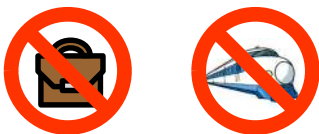
☒ 時差出勤や在宅勤務を行います。



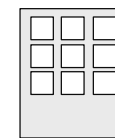
☒ 書類や資料のご提出の際には、メールやデータ転送サービス、郵送等をご利用をお願い申し上げます。



☒ 職員の出張は極力控えます。



☒ 委員会、部会、専門委員会は、web会議システムを使用して、予定通り※開催させていただきます。
（複数の地点を繋ぐことも可能です。）



※：今後の状況によっては変更させて頂く場合もございます。

2019年度 2月開催 GBRC業務説明会 開催報告（その1）

GBRC業務説明会（建設材料性能証明について）にご参加いただきありがとうございました

講演テーマ	概 要
建設材料性能証明について — 建設材料技術認証・証明事業 — （第三者機関が果たす役割）	・証明事業の概要や事例、証明書取得までのフロー、試験等の技術的サポート など ・PCaコンクリート生産技術性能証明について
濱崎 仁 教授（芝浦工業大学）の特別講演 コンクリート業界の最近の動向と 第三者証明の果たす役割	・コンクリート業界（建築分野）における最近の動向 ① 国土交通省（建築基準法等）の動向 ② 日本建築学会（指針等）の動向 ・第三者証明の果たす役割と今後求められる事項



大阪会場



東京会場

2019年度 2月開催 GBRC業務説明会 開催報告（その2）

業務説明会では、これまでにGBRCで証明させて頂いた技術の事例をご紹介します。

- 低環境負荷（高炉スラグ微粉末高含有など）
- ひび割れ抑制（PP繊維など）
- 収縮（歪み予測など）
- 流動化（現場後添加など）
- 強度関連（推定など）

建設材料技術性能証明の事例は、GBRCのHPでもご覧頂けます。
https://www.gbrc.or.jp/building_confirm/kentikuzairyo_shomei/list/

ご興味をお持ちいただける事例はありましたでしょうか？
この事例紹介は、大変ご好評を頂きました。
今後も皆様への有益な情報提供に努めさせていただきます。

業務説明会終了後も、様々なお言葉を頂いております。

- 特別公演はとても興味ある内容で、勉強になった。
- GBRCの証明事業のことが知れてよかった。
- 懇切、丁寧、親身、迅速、コストなどが評価機能選びのポイントです。

貴重なご意見をお寄せ頂き、ありがとうございました。
GBRCが独自事業として行っている性能証明についてもご紹介することができ、
有意義な業務説明会であったと感じております。
皆様のニーズにお応えできるように、今後も精進してまいります。

2020年1月から4月に制定または改正されたJIS（詳細は、該当JISをご確認下さい）

〔制定〕
（新規）

JIS A 6209 コンクリート用火山ガラス微粉末

火山噴出物を原料とするコンクリート用混和材料が新たにJIS化されました。
なお、現状では、『JIS A 5308：2019』の材料としては認められていないため、建築物の主要構造部等に使用する場合、大臣認定を取得する必要があります。

本材料を使用したコンクリートの大臣認定取得をご検討される際には、是非GBRCへご連絡下さい。

〔改正〕
管理項目の
追加・変更
（重要）

JIS A 1132 コンクリートの強度試験用供試体の作り方

改正内容の詳細については、JISでご確認下さい。

圧縮	〔追加〕	供試体の載荷面（上面）と底面との平行度は1mm以内。
割裂引張	〔追加〕	粗骨材最大寸法が40mmの場合、直径を150mmとしてもよい。
曲げ	〔変更〕	供試体の幅の許容差が『0.5%以内』から『1%以内』へ。
	〔削除〕	供試体の平面度は、断面の一辺の長さの0.05%以内。
	〔追加〕	供試体の載荷線及び支持線に当たる箇所の直線度は幅の0.1%以内。

〔改正〕
表記の見直しや
手順が明確と
なるような追記

JIS A 1109 細骨材の密度及び吸水率試験方法

JIS A 1110 粗骨材の密度及び吸水率試験方法

JIS A 1115 フレッシュコンクリートの試料採取方法

JIS Q 1001 適合性評価—日本産業規格への適合性への認証 — 一般認証指針（鋳工及びその加工技術）

材料性能評価委員会の開催スケジュール

5月以降の材料性能評価委員会の開催予定日
（GBRCのHPでも掲載中：<https://www.gbrc.or.jp>）

2020年	5月	6月	7月	8月	9月
事前検討会	28日	25日	30日	27日	24日
承認委員会	22日	16日	21日	18日	23日

注）新型コロナウイルス感染症の流行状況等によっては、開催日を変更させて頂く場合もございます。
なお、当法人で実施している新型コロナウイルス関連の情報は、GBRCのHPで逐次更新しております。

材料性能評価委員会では、法第37条で規定されている鋼材関係等の性能評価も行っています。
鋼材関係等の性能評価についてのご相談やご申請などをご希望されている方がおられましたら、是非ご紹介下さい。

打合せや委員会等について

- ▶ 現在の別添等の最新雛形 **Ver. 12.6**
※お手元にお持ちでない方はご連絡下さい。
- ▶ 事前打合せや相談にも対応（無料）
※お気軽にご連絡下さい。
- ▶ 三密（密閉、密集、密接）回避のため、現在、大阪事務所と東京事務所の会議室利用を原則中止しています。
- ▶ 打合せや委員会では、web会議システムを活用しています。
複数の地点を繋ぐことも可能です。



〔編集後記（荒井 正直）〕

この4月より性能評定課への配属となりました荒井です。これまで当法人の材料性能評価や材料証明において、他部署（材料部）から評価員として皆様と関わって参りましたが、今後は性能評定課の一員として、引き続き内部評価員という立場は維持しつつ、これまでにない新たな関係性を築きながら活動していければと思っていますので、どうぞよろしくお願い致します。このメールサービスも皆様との貴重な接点ツールとして、引き続き有益な情報を提供していくために、皆様のご指導・ご鞭撻を頂戴しながらブラッシュアップを図っていく所存です。新型コロナウイルスの影響で先が見通せない状況ではありますが、皆様と共創を図り、この苦境を乗り越えていければと切に願っております。

発行者：一般財団法人 日本建築総合試験所
建築確認評定センター 建築確認評定部 性能評定課
担当者：GBRC大阪事務所 荒井正直（内部評価員）
坂本欣吾、津平公彦、永田洋一
GBRC東京事務所 安田真弓
連絡先：GBRC大阪事務所 TEL 06 - 6966 - 7600
GBRC東京事務所 TEL 03 - 3580 - 0866
E-mail：seinou3@gbrc.or.jp